

相田化学工業株式会社より

佐々木 秀明

日本医歯薬アカデミーがやがて 30 周年を迎えます事、誠におめでとうございます。これまでの先生方のご努力とご功績に対しまして心よりの敬意を表したいと存じます。また、そのような大事な記念誌に賛助会員として寄稿させて頂けます事、大変光栄に存じます。

私共は平成 18 年に歯科の分野で日頃から大変お世話になっております小林義典教授のご紹介により、賛助会員として入会させて頂きました。

小林先生から日本医歯薬アカデミーの目的やお立場、そして会員でいらっしゃる著名な先生方のお名前をお伺いし、果たして当社がお受けして良いものかどうか大変迷っておりましたが、広範な識見をお持ちでそして創造性豊かな先生方と交流させて頂くチャンスと受け止め、お引き受けさせて頂きました。以来 8 年間、理事会・総会及び懇親会に出席させて頂く事で先生方とそして同じ賛助会員の皆様方とも親しくお話しさせて頂くことが楽しみとなってまいりました。

「私達は新たな付加価値を創造しモノにもう一度命を吹き込む会社です」これは当社のキャッチコピーです。私共は昭和 38 年、東京都府中市において定着廃液、レントゲンフィルム、製版フィルムに含まれる感材銀のリサイクル業からスタート致しました。当初は都内の病院、製版会社、写真現像所から定着廃液、廃フィルムを回収し、工場で再び銀を抽出するというリサイクル事業を本業としておりました。その後、宝飾加工業界、工業界、そして歯科業界への取り組みも進み、現在では銀のみならず金・プラチナ・パラジウム・ロジウム・ルテニウムを中心とする貴金属の精製分析、更には抽出した金属を紛体化した微粉末の製造や、紛体化した金属に特殊なバインダーで混練し作り上げた銀粘土「アートクレイシルバー」、金粘土「アートクレイゴールド」を製造し、国内はもとより世界 47 カ国で販売致しております。

これまで我が国は「大量生産、大量消費、大量廃棄型社会」の一途をたどって来ました。消費が美德とされる時代もありました。物を沢山作る為に資源をふんだんに使い、そして出来た物を不要物としてあっさり捨ててしまう、そんな事の繰り返しでは天然資源は底をついてしまうでしょう。そうならない為にも私達は更に「循環型社会」を推し進めなくてはならないと思うのです。

循環型社会を目指す動きとして 1995 年に「容器包装リサイクル法」が、1998 年に「家電リサイクル法」が制定されました。そして 2000 年には「循環型社会形成推進基本法」「グリーン購入法」が新たに成立しました。

循環型社会形成推進基本法では廃棄物などの循環的な利用や処分には「3R」を実践することを原則としています。3R とは「リデュース」（廃棄物を出さない）、「リユース」（生産、利用の際に廃棄物を減らす）、「リサイクル」（原料を再生して利用する）の頭文字をとって名付けられたものです。3R の社会的背景としては処分場の不足から「環境制約」が先に問題化しましたが、今後は資源・エネルギーの枯渇の問題により「資源制約」についても考えていかなければなりません。貴金属以外のレアメタルはスラグとして廃棄処分されていましたが、これからは解体、粉碎、分離等の前処理工程を経てベースメタルと共に抽出する必要に迫られてきます。

私共は今後も限りある資源を決して無駄にする事なく、高精度な貴金属リサイクル技術を通じてより良い未来を次世代につなぐべく責務を全うしてまいります。先生方にはどうか今後共更にご指

導賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、日本医歯薬アカデミーの輝かしい未来と先生方の益々のご健勝を祈念して 30 周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。

●プロフィール

佐々木 秀明

日本医歯薬アカデミー賛助会員

相田化学工業株式会社専務取締役